

学校だより



おきなま



No. 8

2025. 10. 20

雄踏小学校の全国学力・学習状況調査結果について

本年度も6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。「学力・学習状況調査」の結果を活用して、学校と家庭、地域社会が連携しながら、学力の向上や豊かな心の育成を目指していきたいと考えています。



<本校の状況> ○…浜松市平均より上回る △…浜松市平均より下回る

教科	雄踏小	浜松市	全国
国語	○	67	67.0
算数	○	58	58.2
理科	○	56	57.3

国語・算数・理科すべて全国、浜松市の平均を上回っています。個別の問題についても、全国や浜松市の平均を大きく下回るものはありませんでした。また、無回答率も低く、粘り強く取り組むことができています。

全国平均と比べて、正答率が特に高かった問題

【国語】

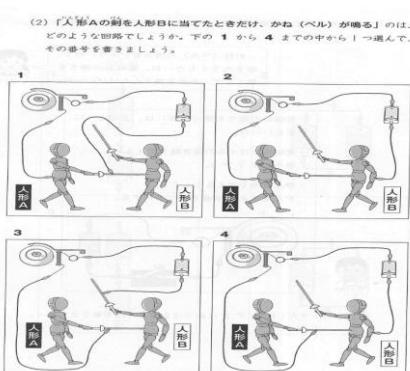
- ① 資料を読み、メモに入る適切な言葉を選ぶ問題（本校正答率 60.8%、全国正答率 51.3%）
- ② 話し合いの様子から、登場人物の発言の空欄 A に当てはまる内容を選ぶ問題
(本校正答率 50.8%、全国正答率 40.8%)

【算数】使いかけのハンドソープが空になるまで、何プッシュすることができるかを調べるために必要な事柄を判断し、求め方を書く問題。
(本校正答率 54.6%、全国正答率 48.7%)



本校は自分の考えたことや、思ったことを友達に伝える「表現力の育成」を研修テーマに置いています。今回の学力調査の結果は、日々の活動の積み重ねが学力調査の結果として顕著に出る形となりました。

【理科】電気を通す物と通さない物でできた人形について、人形 A の剣を人形 B に当てたときだけ、ベルが鳴る回路を選ぶ。



(本校正答率%52.3% 全国正答率 42.9%)

生活習慣や学校環境に関する質問紙調査における状況及び課題

<学習面>

- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと答える児童が多い。
- △「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」と答えた児童が少ない。

<生活面>

- 自分は周りの友達や集団に役立てていると感じている児童が多く、自己有用感が高い。
- △ 放課後や週末に、家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNS を利用したりしている児童が多い。さらに、その子たちの中で、長時間テレビゲームをする児童が多い。

<今後の対策>

「5つの柱」を意識して子供たちの学力向上を目指します。



①授業改善

これまで、教職員の研修の機会を設け、指導方法や学習支援について理解を深めてきました。話型の定着を図ったり、ICT を活用したりする等、授業の充実をはかり、これからも授業や行事等で達成感を味わわせ、自ら進んで考え、実践する児童を育てていきます。

学校評価アンケートでも、教師や友達同士の人間関係が良好であることが分かりました。これからもこの良さを生かして、「考えを伝えること」に一層力を入れて指導をしていきます。また、授業においても、根拠をもとに筋道を立てて論理的に思考したり、適切な方法を用いて自分の考えを説明したりすることができる力を育てます。

②基礎学力の確実な定着

目的意識を明確にして、主体的に授業に参加する姿勢を育てます。



また、基礎・基本となる学力を確実に定着させることができるようにします。

学校評価アンケートや質問紙調査の結果では、家庭学習の学習時間や読書の項目の数値が低かったため、本読みカードや「読んでごらん」を活用し、取り組んだ実感がもてる環境設定、自主的に家庭学習に取り組めるような声掛けをしていきます。

③安心できる学級づくり

子供たちが落ち着いて学習に取り組むことができるよう、一人一人の子供にきめ細かな対応をし、温かな学級づくりを心掛けていきます。これからも自己肯定感を高めることができるクラス作りを目指します。

④保幼小中連携

保育園や幼稚園、中学校との連携をより深め、子供たちの12年間にわたる育ちや学びを促進し、子供たちの成長を支援します。中学校入学までに必要な学力を確認し、しっかりと身に付けることができるようになります。

⑤家庭や地域との連携

年度当初に配布した「家庭学習の手引き」を利用し、家庭学習の目的や方法を家庭に伝え、学校・家庭が協力して指導を行います。また、これからもコミュニティ・スクールによる地域人材を生かした豊かな学習を取り入れていきます。

ご家庭へのお願い

- ・ 家庭学習の習慣が定着している子供が増えてきています。家庭学習と基礎・基本の確実な定着は、大きく関係しています。これからも、子供たちの家庭学習状況の見届けをお願いします。また、「家庭学習の手引き」もぜひご活用ください。
- ・ スマートフォンのアプリやゲーム、テレビ視聴、インターネットの使用に時間をとられる子供が多く見られます。ゲームやテレビ視聴、インターネット、スマートフォンなどの使用は、家庭で視聴や使用時間を相談するなどの具体的な約束を決めたり、マナーを確認したりするなどメディアについて話し合ってみてください。
- ・ 今後も、子供との関わりを大切にしてください。興味を持ったことを受け止め、思いを共有したり、粘り強く見守り、励ましたりすることによって、子供の自立心は育ちます。